

令和4年度第3回「和水町地域公共交通会議」

期 日：令和4年11月21日（月）

時 間：14:30～16:10

場 所：和水町中央公民館

出席者：委員 21 名

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議事

(1) 報告1号 あいのりくんの運行状況について

～事務局より報告～

(会長：和水町総務課長)

- ・事務局からの説明内容について、意見や質問等ないか。

(和水町区長会春富校区代表区長：小山委員)

- ・あいのりくんの導入から5年が経過し、助かっているとの声もよく耳にする。
- ・一方で、交通空白地の問題は依然として、解決していないのが実態であり、あいのりくんと併用して菊水～三加和間を結ぶコミュニティバスを導入し、抜本的な改革をお願いしたい。

(事務局)

- ・議案第4号で詳細な説明を行うが、今年度～来年度で地域公共交通計画の策定を予定している。
- ・その中で、町民や交通事業者等にアンケート調査を実施し、ニーズの把握を行う。
- ・その調査結果を踏まえ、今後の検討を行いたい。

(和水町老人クラブ連合会会長：平居委員)

- ・10月28日に福祉祭が開催され、例年200人程の参加があるが、今年は130人程度と参加者が少なかった。
- ・その要因の1つとして、福祉祭の会場（スカイドーム、グラウンド）があいのりくんの停留所（森の里クリニック）から少し距離が離れていたことが挙げられる。
- ・そのため、あいのりくんを利用せず、高齢者の自家用車に近所の高齢者が同乗して参加するケースが見られ、昨今の高齢者の事故等を考慮すると非常に怖い状況である。
- ・グラウンド、体育館等の公共施設は、あいのりくんの停留所としてほしい。

(事務局)

- ・あいのりくんに関しては、運行開始後1年で拠点を10箇所追加しており、利便性は重要ではあるものの、一般タクシーとの棲み分けが必要であり、あいのりくんが自由に乗降できると、タクシーと同じサービス水準となる。
- ・その点も考慮し、本年度実施するアンケート調査の結果も踏まえ検討していきたい。

(和水町老人クラブ連合会会長：平居委員)

- ・他県でも高齢者の交通事故が発生しており、安全性の面からも公共施設の停留所は是非勧めていただきたい。

(会長：和水町総務課長)

- ・アンケート調査を踏まえ町民のニーズを把握し、事務局の方で対応していただきたい。

- ・その他、意見や質問等ないか。

(委員一同)

- ・特になし。

(2) 議案第 1 号 和水町地域公共交通会議設置規約の一部改正について

～事務局より説明～

(会長：和水町総務課長)

- ・事務局からの説明内容について、意見や質問等ないか。

(委員一同)

- ・特になし。

(会長：和水町総務課長)

- ・議案第 1 号に関して承認でよいか。

(委員一同)

- ・異議なし。

(3) 議案第 2 号 あいのりくんの町外乗り入れについて

～事務局及より説明～

(会長：和水町総務課長)

- ・事務局からの説明内容について、意見や質問等ないか。

(和水町区長会南校区代表区長：南委員)

- ・個人負担金は、500 円/回とあるが、町の負担金額はどの程度か。

(事務局)

- ・1 台につき 17,500 円/台・日の運行委託料を支払っている。
- ・菊水地区では、2 台で運行しているため、17,500 円/台・日の 2 台分、三加和地区では、1 台で運行しているため 17,500 円/日が負担となる。

(和水町区長会東校区代表区長：庄山委員)

- ・下津原地域などにおいて町外への運行計画はどのようなになっているのか。

(事務局)

- ・今回、岩地区と春富地区で町外運行を実施するが、路線バスが統廃合した影響が大きい。
- ・ただし、他地域でも町外への路線バスが運行していない地区があることは把握しており、アンケート調査の結果も踏まえ、引き続き検討していきたい。

(和水町区長会神尾校区代表区長：池田委員)

- ・岩地区は国道 443 号で分断されているが、山鹿の方へのルートはどの様に想定しているのか。
- ・また、料金は 500 円/回と、以前運行されていた路線バスに比べ高く感じる。

(事務局)

- ・運行ルートに関しては予約状況等にもよるが、基本的には、国道 443 号を通行し最短経路で運行することを想定している。
- ・料金に関しては、現在町内の移動で 300 円/回としており、町内移動と同じ料金設定では安いこと等を考慮し、500 円/回と設定した経緯がある。

(有限会社三加和タクシー代表取締役：西本委員)

- ・以前のバス料金はどの程度か。

(和水町区長会神尾校区代表区長：池田委員)

- ・1年半程前の時点で、260～300円であったと記憶している。

(和水町老人クラブ連合会会長：平居委員)

- ・骨折した高齢者の付き添いとして植木に住んでいる娘さんとあいのりくんに同乗することができるか問い合わせたところ、同乗できないとの返答があったとの話を聞いた。
- ・あいのりくんに利用登録していない場合は乗れないのか。

(事務局)

- ・現状としては、町民限定で利用登録者しか乗れない規定となっている。

(和水町老人クラブ連合会会長：平居委員)

- ・和水町は熊本県で12番目に高齢化が進んでいる町であり、臨機応変に対応していただきたい。
- ・結果的に民生委員が対応することとなる。

(会長：和水町総務課長)

- ・今後の検討課題とさせていただきたい。

(和水町社会福祉協議会事務局長：坂本委員)

- ・ロマン館や交流センターに行くことと産交バスがロータリー内を運行しており、あいのりくんの理想の利用方法は、自宅から拠点まで行く事でバスに自由に乗れることだと思う。
- ・一方でバスの通過時間が不明であるため、通過時間を示したものを提示することで、公共交通を利用することが選択肢となるのではないか。

(事務局)

- ・バス事業者とも相談し、検討していきたい。

(和水町区長会西校区代表区長：荒木委員)

- ・あいのりくんの利用登録において、年齢に制限はあるのか。学生も可能なのか。

(事務局)

- ・年齢制限はなく、学生でも可能である。

(和水町区長会西校区代表区長：荒木委員)

- ・公共交通がないために、熊本市内に通学する高校生等が玉東町や木葉駅周辺に住所を移すという話を聞いたことがある。
- ・高校生への支援も含め検討していただきたい。

(事務局)

- ・あいのりくんに限らず、高校生への移動支援は検討していきたい。

(会長：和水町総務課長)

- ・議案第2号に関して承認でよいか。

(委員一同)

- ・異議なし。

(4) 議案第3号 あいのりくんの無料期間実施について

～事務局より説明～

(会長：和水町総務課長)

- ・事務局からの説明内容について、意見や質問等ないか。

(和水町区長会中央校区代表区長：小出委員)

- ・令和5年1月からの開始となっているが、1月発行の広報はいつ実施されるのか。
- ・令和4年12月28日の区長便に載せてはどうか。

(事務局)

- ・令和5年1月4日からの開始を想定しており、12月28日の区長便が1月号となり、それに掲載予定である。
- ・よって、住民の方にはその後配布となりギリギリとなるが、町の防災無線での広報なども考えていきたい。

(和水町区長会南校区代表区長：南委員)

- ・事業費が記載されているが、金額に到達次第、本事業は終了となるのか。

(事務局)

- ・コロナ交付金の活用を考えており令和5年3月までを対象と考えているが、記載している事業費はかなり余裕を見ており、到達することはないと考えている。

(石原会長)

- ・議案第3号に関して承認でよいか。

(委員一同)

- ・異議なし。

(3) 議案第4号 和水町地域公共交通計画策定調査業務について

～事務局及び受託者より説明～

(会長：和水町総務課長)

- ・事務局及び受託者からの説明内容について、意見や質問等ないか。

(和水町老人クラブ連合会会長：平居会長)

- ・三加和中学校前の町道であるが、通学時間帯に中学生が自転車を利用しており、自転車は原則車道であることから危険な状態である。
- ・先日の議会でも議員から質問が出ていると思うが、早急な対応が必要ではないか。

(石原会長)

- ・交通安全の問題であり、別途交通安全対策会議の場で検討していきたい。

(九州運輸局熊本運輸支局主席運輸企画専門官：白石委員)

- ・地域公共交通計画の作成は国の方で努力義務化と位置づけ作成をお願いしているところであるが、地域公共交通に関するマスタープランとなるものである。
- ・計画の中でまち全体のビジョンを整理することで、本日各委員から出た個々のニーズに対しても適切に対応していくことが可能となると考える。
- ・地域公共交通の会議の場で地元から活発な意見があるのは他都市では少ない状況である。
- ・乗り合いタクシーに対する意見が多くあったが、乗り合いタクシーで全てを対応していくのではなく、事務局から回答があったように路線バスや一般タクシーなど有効な交通資源を活用していく必要がある。
- ・交通事業者の経営状況も新型コロナウイルス感染症の影響からさらに厳しい状況となっており、ベストミックス、すなわち複数の交通手段を組み合わせることで成立させていくことが重要である。

- ・また、本省の方では現在、リ・デザイン（再構築）の検討を行っており、共に創るという概念の基、官と民、交通事業者間、他分野との連携などの観点から検討を行っており、それらに対しても国として積極的な支援を予定している。

（国立大学法人熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター長：柿本委員）

- ・調査への追加項目として、住民が移動手段を選択する際に予算制約が生じるため、高齢者の免許返納後の意向として、現在利用している車の利用頻度や維持管理にかかる費用がどれくらいか、さらには免許返納後に公共交通を利用するにあたって支出可能な費用負担について把握すべきである。
- ・今後の公共交通は、各世帯が有する交通資源の状況を踏まえ、自助だけでなく、共助の考え方が必要である。
- ・また、公共交通に関する情報の周知は必須と考えるが、公共交通を使わない人に関しては、知らないで使わないのか、知っていて使わないのかを把握した方がよい。

（事務局）

- ・意見を踏まえ、調査項目等を検討する。

（国立大学法人熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター長：柿本委員）

- ・調査のアウトプットを明確にして調査票等を設計して欲しい。

（石原会長）

- ・議案第4号に関して承認でよい。

（委員一同）

- ・異議なし。

4. その他

（和水町区長会東校区代表区長：庄山委員）

- ・総合計画でまちづくりの将来像として、「希望あふれ、人と地域が輝くまち」という整理がされているが、抽象的であり、その先にあるものが不透明な状況である。
- ・人と人の交流の先には人の心と心の交流があり、交通ネットワーク網は人と人との心の交流づくりにつながるものとする。
- ・菊水町と三加和町が合併して時間が経過しているが、和水町は1つという観点から将来像を整理していくべきである。

（事務局）

- ・第1次和水町まちづくり総合計画の将来像のことかと思うが、合併して15年経過し、旧町間の交流がないという指摘は確認している。
- ・昨今は新型コロナウイルス感染症の影響などもあったが、withコロナと言う観点から、今後は行事や活動などを活発に行い、イベント等を通じて交流ができればと考えている。

（和水町区長会東校区代表区長：庄山委員）

- ・資料の表現として、校区や地区などの表記が多々あるが、和水町は1つという考え方で検討を進めてもらいたい。

5. 閉会